



第167号
編集発行
愛知学院大学
事務局 庶務課
☎ 470-0195
愛知県日進市岩崎町
阿良池12
電話 (0561) 73-1111(代)

愛知学院創立133周年

教育と研究の

一層の充実強化を

学院長 小出 忠孝

式辞(要旨)

本日学院創立133周年記念式を迎える事が出来、誠に喜びに耐えません。今日の133年間、歴代の関係各位のご努力とご支援に深甚なる敬意と謝意を捧げるものです。

「学院発展の基盤」

本日の創立記念日にあたり第一に銘記すべきことは、本学院が開祖道元禅師の教えを建学の精神とし、明治9年創設の曹洞宗設立の私学で、中部で最も古い歴史と伝統を持つ専門学園であることです。

次に戦後の学制改革に際し、本学は時代の先端を走り、昭和25年に短大を、28年に道元禅師700回大遠忌の報恩事業として大学を創設した事で、戦後教育界の発展のトッポをきった小出有三初代学院長の先見の明と実行力に心から敬意を表すものです。

第四に昭和51年に学院創立百周年を記念し、日進キャンパスを開設した事です。緑豊かな50万㎡の広大なキャンパスの設立が、本学の飛躍的成長の基礎となったのです。

「大学の飛躍的発展」

当時わが国は高度成長期にあり社会の急速な進展、時代の要請に対応し、本学では次々と新学部・学科、大学院を増設、さらに定員増を行い、学生1万数千人の大規模な総合大学へと伸展させ、社会のニーズに応えてきました。

その結果、現在8学部17学科、大学院9研究科、短大1学科に教職員1千名、学生1万2千名、同窓生11万余を有する中部地区最大級の規模と、充実した内容を誇る私立の総合大学へと飛躍的に発展してきております。

「薬学部国試合格日本一」

本学薬学部では今年第一回卒業生の薬剤師国家試験合格率が96%と国公立大で日本一の成績を挙げました。歯科医師国家試験で合格率全国一を誇ってきた歯学部と共に、本学の教育の優秀さを全国に示しました。さらに歯学部では全国歯科大学体育大会で全国優勝の快挙を遂げ、文字通



東海インターンシップ推進協議会

副会長に小出学院長選任される。

東海地域の大学・短大と産業界の連携により、インターンシップの実施を促進し、高等教育と地域社会の発展を計るもので、昨年度東海地区は46大学、約2千名の学生が参加した。今回副会長に浜口名大総長、副会長に小出学院長が選任されたが、学生の就活促進のため一層の活躍が期待されている。

「教育環境の改善」

昨年、学生会館に次いで第一食堂の改築新築工事も完成し、三階建ての斬新なデザインのレストランと多目的ホールがスタートし、学生のキャンパスライフを一層快適にしています。さらに今夏より1号館前に教学センター新築工事を開始しましたが、学生に最も重要な教学部と学生部をキャンパスの中央に新築移転するもので、来夏に完成予定で学生の利用が大変便利になります。また補元校地では歯学部講義室棟の改築に次いで、現在図書館情報センターの耐震リニューアル工事中です。完成後には学生自習室も増設され、国試対策の利用の便を計ります。

「中部一の科研補助金」
本年度の文科省科学研究費補助金は、本学が歯学部を中心として84件、計1億9千500万円で中部の私大中第一位でした。大学の研究レベルを客観的に示すものと重視されますが、本学の研究の充実度が中部トップを明示しており、大いに自負すべき事であり、また本年度文科省が新設した「戦略的大学連携プログラム」に本学心身科学部健康科学科が中心となり、歯・薬学部と共に愛知医大、県立大学看護学部と連携し「医歯薬看心身系大学連携による生活習慣病予防教育体制の構築」のテーマで応募し、厳しい審査の結果、採択されました。従来の個別大学に対する助成でなく、地域の大学が国公立の枠を越えて連携し、その地域の教育研究水準の高度化推進を目的としたものです。本学が東名古屋地域の代表校として認められたもので、その責任は大であります。

「学院大学の誇りを」
以上本学では時代の変化に対応し絶えず改革の努力を続け、教育研究の充実を努めています。一方私学として決して「変えてはならないもの」がある事を忘れてはなりません。それは創立以来堅持してきた建学の精神「行学一体・報恩感謝」です。この建学の精神を体した学生を、一人でも多く社会に送り出す事が、私学としての本学の特色であり使命です。本日創立133年の輝かしい歴史をふり返り、学院の今日ある姿を理解した時「学院大の教職員・学生である」ことに大きな誇りを持つて頂きたい。そして本学が21世紀に大きく飛躍するため、各人が夫々の立場で努力される事を要望します。

10月15日 創立133周年記念式典を挙る

愛知学院創立133周年記念式典が10月15日(木)午前10時から日進キャンパス百周年記念講堂で挙行され、第一部の式典では小出学院長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。

また、平成21年度永年勤続表彰は次の皆さん。



総務部	部長 大竹 和美	総務課	主任 葛島 宏志	技術課	主任 二村 豊	技術主任	葛島 宏志
経理課	主任 坂倉 正仁	経理課	主任 猪子 民子	事務主任	石井 洋子	事務主任	水谷由美子
附属病院	主任 曾我 初代	衛生部主任	佐々木美代子	看護補助主任	稲葉加代子	技工部主任	大崎 千秋
35年勤続者	稲葉加代子	准看護士	柴田久仁子	電話交換取扱主任	佐久間いづ子	25年勤続者	佐久間いづ子
経営学部	教授 古川 勇吉	総合政策学部	教授 伯彦	教養部	教授 稲垣 正巳	短期大学部	教授 柳原 保
歯学部	教授 福田 理	教授 山田 章三	教授 高阪 利美	歯科技工専門学校	講師 大池 洋治	歯学部	教授 岡島 秀隆
教授 後藤 俊明	教授 岩田 和男	教授 浅井 千裕	教授 南 千鶴	事務職員	酒井重希子	事務職員	浅井 千裕
事務職員	酒井重希子	事務職員	南 千鶴	事務職員	賀川かをり	事務職員	賀川かをり

平成21年物故者追悼会厳修

愛知学院創立133周年記念式典に続いて、第2部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめ厳かに営まれた。

この日の慰霊の対象は、平成20年10月1日から平成21年9月30日までの間に逝去の届出のあった本学関係物故者62

霊位(うち教職員28名、学生34名)。
ご遺族、教職員、大学後援会同窓会役員、学生らが参列し、読経の中参列者が焼香をし、法要の最後に小出学院長が挨拶を述べ、物故者の冥福をお祈りした。



本学より 李 大義 氏、 水野 莊平 氏、前田 知郷 氏 の3氏に博士号授与



李 大義(リ デウィ)氏
博士(商学)

李大義氏は、昭和34年生。平成7年本学商学部商学科卒業後、本学大学院商学研究科商学専攻博士前期課程、平成12年本学大学院商学研究科商学専攻博士後期課程満期退学。平成12年より本学商学研究科研究員。平成16年より南山大学総合政策学部非常勤講師。

博士論文は「韓国の工業化と中小企業の発展」で、財閥が急速に成長したにもかかわらず韓国の中小企業が発展しなかったのかを探究している。

その原因を韓国の工業化政策によるものとし、工業化は日本の植民地期から始まり、1960年代の輸出指向工業化政策で本格化したと論じている。韓国の工業化が独立後から始まるという主張は通説であるが、韓国の工業化が日本の植民地期から始まるとの指摘はまったく新しい知見である。このように、韓国の中小企業の問題を工業化との関連で、体系的にかつ緻密に分析している点が最大の特徴である。

また本論文では、台湾・日本の中小企業とも比較し、韓国の中小企業が抱える問題点をより明確化したこと、韓国の輸出指向工業化政策がチョボルを生み出したが、また中小企業の停滞も生み出した等、韓国の中小企業の構造が詳細に検討されている。



水野 莊平(みずの そうへい)氏
博士(文学)

水野莊平氏は昭和51年生。平成11年本学文学部宗教学科卒業後、本学大学院文学研究科宗教学専攻博士前期課程、平成18年本学大学院文学研究科宗教学専攻博士後期課程満期退学。平成13年本学大学院文学研究科宗教学専攻研究員、平成18年より本学大学院文学研究科宗教学専攻研究員。

博士論文は「『仁王般若経』成立史の研究」で、護国経典として東アジア諸国において重要視された『仁王般若経』が、インド成立であるのか、或いは中国撰述の偽経であるのかという、経典の成立問題について考察したものである。

『仁王般若経』は従来中国において撰述された純然たる偽経として位置付けられてきたが、本論文では、この『仁王般若経』について、何らかの原本があって、後世に中国において加筆・増補がなされたのではないかという仮説に基づき、「経録」「異訳」「本文」の三点を研究の中心とし究明がなされている。結論として『仁王般若経』は、無名の原本や他の経典からの引用に編集を重ねて述作された中国撰述経典であることが証明された。水野氏による緻密な文献的考証により、『仁王般若経』が成立するまでに様々な諸段階を経ていることが初めて明らかになった。これが今後の訳経・偽経研究の上で支持されていくことは自明のことと言わなくてはならない。



前田 知郷(まえだちさと)氏
博士(文学)

前田知郷氏は昭和51年生。平成13年龍谷大学文学部仏教学科卒業後、龍谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士課程前期課程修了、平成16年本学大学院文学研究科英語圏文化専攻博士後期課程入学、平成19年満期退学。平成15年より本学大学院文学研究科英語圏文化専攻研究員、平成19年より本学大学院文学研究科英語圏文化専攻研究員。

博士論文は「女神崇拝と供儀—カトマンドゥ盆地のクマリ—」で、ネパールにおけるクマリ崇拝に関する研究であり、この女神崇拝はインドのヒンドゥー教および仏教の両者に関わり、しかも長期にわたる歴史を有している。したがって本論文は、仏教とジャイナ教が優勢だった時代(500B.C.~600A.D.)からヒンドゥー教の時代、イスラム教徒による政治支配時代、近代ヒンドゥー教の現代までの時代を視野に入れており、その主内容はネパールのカトマンドゥ盆地における現在のクマリ崇拝に関する調査研究である。

本論文は、従来の文献的研究に加えて民族学的手法を採用しているが、このような新しい研究方法を採っていることも本論文の特色の一つで、将来、カトマンドゥ盆地におけるクマリ崇拝およびダサイン祭に関する基本的資料となるとと思われる。

平成21年度 新司法試験に本学より4名合格

9月10日(木)、平成21年新司法試験の合格者の発表があり、本法科大学院修了者の中から4名が合格した。

今年度、本学より26名が受験し、4名の合格者を輩出し、合格率は15.38%で、74法科大学院中44番目、また、短答式試験合格者11名を基とした合格率は、36.36%で22番目です。

これは、前年度の結果を真摯に反省し、カリキュラムの見直しをはじめ、修学支援体制の強化に、学生・教職員が一丸となって取り組んだ結果で、今後も、より一層質の高い教育を実現できるよう法科大学院を挙げて取り組む。

また、9月16日(水)、合格した4名を称える祝賀会が学院会館で行われ、大野副学長より4名に祝辞が述べられ、法科大学院設立に尽力を尽くされた湯浅元法務研究科長も出席され、涙ながらに4名に祝辞を送った。

法務研究科を支えて頂いた学内外の多くの方々に心より感謝するとともに、今後の合格者の活躍が期待される。



平成21年度 日本トキシコロジー学会において 薬学部 佐藤雅彦 教授が 田邊賞 を 薬学部 藤原泰之 准教授が 奨励賞 を受賞



佐藤雅彦 教授

平成21年7月6日から8日に盛岡で開催された第36回日本トキシコロジー学会学術年会において、本学薬学部 衛生薬学講座 佐藤雅彦 教授が平成21年度田邊賞を受賞し、表彰式が執り行われた。この田邊賞(年間優秀論文賞)は、日本トキシコロジー学会の機関誌であるJournal of Toxicological Sciences誌に1年間(平成20年1月~12月)掲載された原著論文の中から優れた論文を発表した学会会員に贈られる賞である。論文名は「Protective role of metallothionein in bone marrow injury caused by X-irradiation (X線による骨髄障害に対するメタロチオネインの防御的役割)」で、東北大学、東京大学、国立環境研究所、兵庫教育大学、北里研究所メディカルセンター病院並びに愛知学院大学の共同研究である。本研究は、生体防御に関わるタンパク質の一つであるメタロチオネインの遺伝子が欠損したメタロチオネインノックアウトマウスを用いて、メタロチオネインがX線照射による骨髄障害に対して防御的役割を果たすことを示したものであり、佐藤教授はCorresponding Authorとして貢献した。

また、本学薬学部 衛生薬学講座 藤原泰之 准教授が平成21年度奨励賞を受賞した。この奨励賞は、トキシコロジー分野に関する研究において独創的な研究業績をあげ、しかも将来が期待される若手のトキシコロジー学会会員に授与される賞である。研究課題名は、「有害金属による血管構成細胞の機能障害に関する研究」である。

今後の 藤原泰之 准教授の更なる活躍が期待される。



藤原泰之 准教授

平成20年度法学研究科博士前期課程を修了した木下綾子氏が、第32回「日税研究賞」を受賞した。本賞は、日本税理士連合会と財団法人日本税務研究センターが、租税法、租税制度、租税論、税務行政、税理士制度および税務会計に関する研究の奨励および未・既公表著書・論文の表彰を行い、租税等に関する研究の奨励および研究水準の向上に寄与することを目的に実施するものである。

木下氏は研究者の部で、「相続税法における取引相場のない株式の評価に関する一考察—財産評価基本通達6項「特別の事情」の観点からの判例分析—」と題し、特則6適用

事例を類型化することにより、ある程度の予測可能性を確保することを意図し、支配力基準、趣旨適合基準、負担軽減基準等を明らかにした。特則6については、不要論、廃止論が多い中で木下氏は補完措置としての必要性を唱えた。木下氏の論文は、審査委員からも総合判例研究の手法による論点整理は丹念かつ丁寧であり評価できるとされ、全員一致で受賞となった。



法学研究科 博士前期課程
平成20年度修了生 木下 綾子 氏
第32回「日税研究賞」受賞

第16回コカ・コーラ環境教育賞

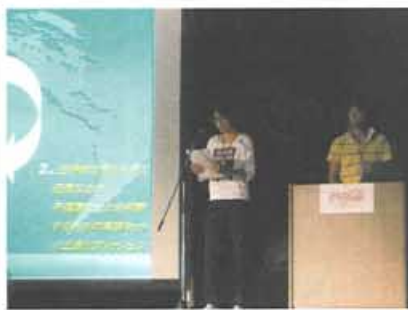
次世代支援部門に本学の「起業研究会」が受賞

第16回コカ・コーラ環境教育賞(財団法人コカ・コーラ教育・環境財団主催、読売新聞社協力、文部科学省・環境省後援)の最終選考会が8月8日、北海道栗山町で開かれ、本学起業研究会(代表・経営

学部2年 岩田知之 君)が「次世代支援部門」で「土地再生プロジェクト」をテーマに優秀賞を受賞した。

受賞した「土地再生プロジェクト」は、微生物などが少ない不健康な土にミミズを放したり、土壌の活性化剤を加えたりするなどし、多様な微生物を含んだ土壌に改良した上で家庭に持ち帰り組み立て「土バンク」と名付け、地域の土壌を健康にすることで環境にやさしい地域づくりを行うのが狙い。

鶴岡経営学部教授の指導のもと、4人の学生が「土バンク」の仕組みを作り上げ、来年の2月には「土バンクフェ



ア」を開催し、近隣の小中学校に通う児童・生徒の家庭と協力し実践する予定。「今回の受賞はすみに、地域の私たちの環境意識を高めた。」と岩田君は抱負を語った。今後の起業研究会の活動が期待される。

岐阜県立

土岐商業高等学校

と事業支援協定調印

8月31日、インターネット

にて販売される。

上の仮想商店街の作成や地域産品の独自開発を目指す岐阜県立土岐商業高等学校と事業支援に関する協定を交わした。主に本学の商学部が中心で、協定の主な内容は商品開発についての基礎的な講座の開設と、実際に「恵那川上屋」の技術指導、販売方法指導、試供品提供支援を受けて、商品開発する上での指導をする。開発した商品は土岐市内の土岐商ショッパや各種イベント

土岐商業高校の服部哲明校長はこの協定を活かし、地域経済に貢献できる高校を目指したいと期待を述べていた。

心身科学部

愛知県との委託事業

大学生メタボリックシンドローム予防事業調査解析事業

健康長寿あいち宣言に基づき、県民が主体的に健康づくりに取り組めるよう推進している。その一つとして、平成20年度から全世代にわたるメタボリックシンドローム予防を掲げ、学童期、大学生、高齢者を対象にそれぞれ事業を展開し、生活習慣調査等を実施した。

そこで、心身科学部健康栄養学科では調査解析事業を受託し、愛知県が県内の大学生を対象に実施した大学生の生活習慣調査(約1500人)、新たに食事バランスガイドによる大学生約250人の食事状況調査の結果を分析し、その傾向を知ることにより、今後大学生を含む若年期に対するメタボリックシンドローム予防を推進するための方策を採り提案する。

啓発活動

「からだにECOプロジェクト」

健康長寿あいち宣言に基づき、生涯にわたる望ましい生活習慣の意識づけのため、11月14日の世界糖尿病デーに併せ、メタボリックシンドローム・糖尿病予防を県民に広く啓発するための啓発活動「からだにECOプロジェクト」を実施する。

本学心身科学部健康科学・健康栄養学科による「エコロリー(ECO+カロリー)大作戦!!」運動と食事のカロリー収支バランスを考えた「エコロリー」と題し、大学祭およびその後の交流会において運動(消費)と食事(摂取)のカロリー収支バランスをとることの重要性を啓発する。本学の学生、近隣住民、大学祭に来た人を対象。「しつかり運動して上手に食べる」簡便な方法を提案し、エコロリーで「からだにECO」を実践する。

教学センター(仮称)の工事始まる

日進キャンパスでは1号館前に新たに教学センターを建設中で、現在本部棟の中にある教務課と学生課を移転する。平成22年8月末完成予定。

建築面積は1798.54㎡、地上1階、鉄骨鉄筋コンクリート造。工事期間中は、学生の皆さんに大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。



第7回ボンド大学

交換留学生決まる

今年で7年目となるオーストラリア・ボンド大学への交換留学生に文学部国際文化学科3年伊藤由衣さん、文学部グローバル英語学科3年森香津代さんが決定した。

7月24日(金)日進キャンパスの学長室で奨学金伝達式が行われ、伝達式では、引田弘道国際交流センター所長、黒田安雄文学部長らが見守る中、小出忠孝学長より奨学金30万円が手渡された。

将来はエアーケータリングの仕事に就きたい。森さんは実際に英語圏で生活することで日常的に英語に触れ英語力を伸ばし、将来は旅行業や実務翻訳の仕事に就きたいとそれぞれ抱負を語っていた。

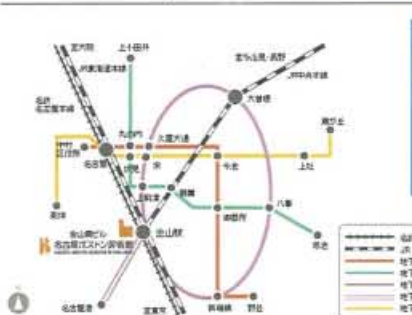


名古屋ボストン美術館 学校法人賛助会に入会

本学はこのほど、名古屋ボストン美術館学校法人賛助会に入会した。本学の在学生は、学生証の提示で入館できる。

名古屋ボストン美術館(名古屋市中区金山1丁目、金山総合駅南)は、1999年4月、米国ボストン美術館の姉妹館として開館。ボストン美術館所蔵の優れたコレクションを恒常的にわが国に紹介する唯一の施設。

アクセスマップ



開館時間は午前10時から午後7時(土・日・祝は午後5時まで)で、月曜と年末年始は休館。

平成21年度 二国間交流事業に
村木克彦 薬学部教授 採択される

独立行政法人 日本学術振興会が諸外国の学術振興機関との協定等に基づき、個々の研究者交流を発展させた二国間の研究チームの持続的ネットワーク形成を目指し、我が国の優れた研究者が相手国の研究者と協力して行う共同研究・セミナーに、本学薬学部村木克彦教授の課題が採択された。

実施課題は、「アプタマー分子によるTRPVチャネルの機能およびエピジェネティクス制御」で、英国（Leeds大学D.Beech教授）との共同研究を行う。実施期間は平成21年4月1日から平成23年3月31日。

財団法人大幸財団より平成20年度学会等開催助成、海外学術交流研究助成が決定し、本学から学会等開催助成に3件、海外学術交流研究助成に1件の助成が決定した。

この事業は、財団法人代行財団が地域の学術文化の振興を図るため、大幸財団学術振興助成規程の定めるところにより、愛知県内の大学等学術研究機関に所属する研究者が県内において平成20年度内に開催する学会・研究会を、学会等研究機関から招かれて海外で開催される国際会議への出席に助成することを目的としている。

本学からは採択された取組3件は下記のとおり。

（財）大幸財団
学会等開催助成に2件
海外学術交流研究助成に1件決定

学会等開催助成採択一覧

申請者	申請者所属	学会等の名称
向 伊知郎	経営学部	日本経営分析学会 第25回秋季大会
長崎 大	心身科学部	東海体育学会 第57回大会

海外學術交流研究助成採択一覧

申請者	申請者所属	開催国	学会等の名称
吉田 憲司	歯学部	アラブ首長国連邦	第12回国際レーザー歯学連合学術会議



今年もオーブンキャンパスが春4月19日(日)、夏8月1日(土)・2日(日)、秋10月17日(土)に開催され、昨年より1102人(14.8%)多い8545人の高校生らが



訪れ賑わった。

18歳人口が減少する中、本学へのオープンキャンパスへの参加者は年々増えており、保護者の来場も多くなっている。

オープンキャンパスは高校生や保護者にキャンパスを開放し、愛知学院大学をより知ってもらうためのイベントで、学部教員による個別相談会、模擬講義、保護者対象説明会、予備校講師による受験対策講座、入試・資格・就職等の相談コーナーや、在学生によるキャンパスツアー、サークル体験など、内容も充実している。

高校生らの関心が最も高かったのは、カリキュラムや学習支援体制を中心とした学部学科別相談会や入試などの説明会で、また模擬講義にも多数の高校生が参加し大学での講義に触れた。



た」などの感想が寄せられた。また保護者からも「就職支援体制や学習環境の支援体制がしっかりしている」「在学生の積極的な姿が良かった」などの声が聞かれた。

オープンキャンパス
高校生ら855

高校生ら8545人が参加

心身科学研究科健康科学専攻

博士後期課程 平成22年4月開設

文部科学省に設置認可申請中であった心身科学研究科健康科学専攻博士後期課程が、このほど文部科学省より設置認可の連絡があり、平成22年4月開設の運びとなった。

健康科学専攻博士後期課程の目標は、第一に人材養成である。すなわち、健康科学領域で自立して研究・開発を行うことができ、予防・治療面で、新たな知見や価値を創出

な思考能力と深い洞察、そして主体的な行動力である。柔軟な思考能力は今日の社会・経済の急速な変化に対応するためにも欠かすことが出来ない。このような人材育成の目

値的目標としては、毎年定員4名以上の博士後期課程学生を教育し、博士後期課程学生が関与した論文を、専攻として毎年8報以上出版する。そのうち、博士後期課程学生が

愛知学院大学心身科学研究科健康科学専攻博士後期課程では健康を「心身ともに健やかで、社会的にも活力のある状態」と捉え、内科学などの臨床医学、ゲノム医科学をはじめとする基礎医学、臨床疫学、スポーツ医学、運動生理学、栄養学、食品学、心理学看護学、教育学といった広範な学問領域をベースに新しい「健康科学」の高度な教育と研究を推進する。健康科学専攻は保健衛生学の学問分野に属する。

できる研究者や専門家を養成することである。そのために健康に関する高度な研究能力と豊かな学識を涵養しなければならぬ。このような研究者、高度な専門家は国際的に情報を発信、受信できることが必要である。健康科学専攻が博士後期課程修了者の活躍の舞台は広い。いずれの場においても活躍の基盤となるのは自立した研究開発能力と健康に関する統合された知の基盤にさらにそれらと密接に関連した、健康づくりに関する柔軟

的を達成するために、健康科学専攻博士後期課程では教育課程を整備する。

具体的には、研究指導に加えて、健康科学研究方法論、健康科学実験方法実習、先端健康科学特論からなるコースワークを設定した。健康科学ワークを設定したのは、健康科学研究方法論では研究の進め方を系統的に指導すると同時に英語による情報の発信と受信を重視している。先端健康科学特論と健康科学実験方法実習は、すでに健康科学専攻修士課程で整備されているカリ

筆頭著者である論文は毎年4報以上とする。

本専攻修士後期課程の基盤となるのはすでに設置済みの本専攻修士課程および愛知学院大学心身科学部健康科学科であり、「自立した研究・開発能力」、「新たな知見・価値の創出能力」、「国際的な情報発信・受信能力」をキーワードに、健康科学専攻修士後期課程を構想した。既設の健康科学専攻修士課程は、修士後期課程発足の折には健康科学専攻修士前期課程となる

道元禪師のこゝろ

春は花夏ほととぎす秋は月

冬雪さえてすずしかりけり

(教養部准教授) 木村文輝

ノーベル文学賞の受賞式で川端康成が吟じて有名になったこの歌は、道元禅師の作である。だが、一般に日本の自然の美しさを詠んだと思われているこの歌は、決してそれだけのものではない。「本来の面目を詠ず」と詞書があるように、そこには深遠な禅の境地が詠まれている。

「本来の面目」とは、世界の真実の姿、悟るべき真

理の世界である。しかしそれは我々の生きているこの世界の外にあるのではない。禪師は「修証一等」という言葉によって、修行（修）の中に悟り（証）があり、悟りの中に修行があると説いている。つまり、修行と悟りは同じ世界の中にあり目の前に広がる日常の風景の中に悟りの境地が隠されているというのである。

仏教の説く「諸行無常」

の教えは、あらゆるものが移ろいゆき、変わらざるものは何一つとして存在しないということである。そうだとすれば、日々移ろいゆく自然の風光、私達の日常生活の中にこそ、真理の世界は宿っているということになるだろう。

あらゆるものは、ありのままに真理であり、それはいつも私達の目の前に広がっている。ところが、私達

は日々の生活にあくせくしてそれに気付いていないだけなのだ。ほんの少し立ち止まり、心に少しの余裕を持つことで、普段は見過している大切なもの、見落としている本来の面目を発見し、これまでとは違う自分と出会うことができるのかもしれない。

愛学祭
テーマ「絆」

ライブ」と称し、大勢の聴衆が詰めかけた。また、フィナーレでは、数多くの花火が打ち上げられ、溢れんばかりの歓声と拍手の渦に包まれた。様々な個性ある人が集まり、色々な絆が生まれた第57回愛学祭「絆」は、盛況の内に幕を閉じた。

雇用情勢が大きく変化しました。日経調査では2010年の採用において、主要企業の大卒の内定者は今春入社比で26.8%減であり、製造業、金融機関が軒並み採用を減らしました。2011年の採用に於いても、この厳しい就職環境は変わらず厳しくなる事が予想されます。

10月15日（創立記念日）には、金融業界セミナーを開催し、浅野キャリアセンター課長から金融の基礎知識・就職活動対策のポイントを説明、更に都市銀行・大手証券会社の人事担当者を引き各金融における必要な資質や求める人材像などの詳細な話を伺いました。300名の学生が出席

し、それぞれの説明に熱心に耳を傾けていました。これ以外にも、就職活動を終えたばかりの4年生が自身の就職体験を語る体験報告会や、女子

今後は11月4日から各学部別の第4回進路・就職ガイダンスを開催します。公務員志望の多い法学部では、民間志望者と公務員志望者とその

志望先によってガイダンスの内容を変えて開催するなど、各学部の特性を踏まえて開催します。11月16日からは学内において業界・企業研究セミナーを開催し、大手上場企業約100社（機関）の説明会を開催します。来年1月には更に規模を拡大し約250社（機関）余を招いての企業就職面談会開催、加えて栄中日ビル11階のサテライトセンターでのキャリア支援室の再開を準備し支援体制の万全を図ります。

国際経営学科4年
京都サンガF.C.に
入団決定

A portrait of a young man with short dark hair and a light beard, smiling at the camera. He is wearing a red V-neck sports jersey with white trim on the collar and sleeves. The jersey has a small white logo on the left chest and the text "NACHI GAKUIN" printed across the front. He is standing on a green grassy field, likely a soccer field, with a modern building featuring large glass windows in the background.

日経調査によりますと、2011年の採用計画について8割の企業が2010年と同水準になる計画です。一方、大企業が採用を縮小する中で優秀な人材確保をしようと動く中堅・中小企業も多く、広く業界を見渡し粘り強く就職戦線を闘って欲しいと思います。3年生のご父母におかれましては、このような状況を鑑み、学生諸君には早くからの準備をして、キャリアセンタ―主催の行事などに積極的に参加するように喚起をお願いいたします。

2・3年生向けのインターンシップ（企業での2週間の就業体験 2単位認定）では869名の応募（前年比447名増）があり、444名がマッチングし252の企業・

団体で研修を行いました。研修を終えた学生諸君の表情は研修前とがらりと変わり自信に満ち溢れ、今後の進路選択や就職活動に大きく役立つものと思います。

秋学期からは1・2年生を対象とした授業科目「キャリア・デザイン」を開講し、「よりよい人生設計のために」をコンセプトに、学内外の講師公演に加え、実際に企業に向き、人事担当者への企業取材を行うなど次年度のインターシップにつながる体系的かつ実践的なプログラムを行っています。

学年を問わずキャリアセンタールを積極的に活用し、納得いく学生生活、進路選択を行って欲しいと、スタッフ一同願っております。

本学では教室棟の耐震工事
 厚生施設の建替えなど、学生
 の福利厚生、教育環境の充実・
 向上のために各種施設の整備
 を進めてまいりました。今後
 もさらに教育環境の充実に努
 めたいと思います。こうした
 事業費の一部に充当するため
 に寄付のお願いを致しました
 ところ、多額のご寄付を賜り
 厚くお礼申しあげます。

なお、引き続き次の要領で募集しておりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

1. 寄付方法

寄付申込書を送付の上（切手不要）、銀行振込にて平成22年3月末日までに1口1万円を2口以上でお願いします
用紙をお持ちでない方はご連絡

ただければ送付いたします。
（この寄付金は個人・法人とも
に特定公益増進法人への寄付
金として、免税処置が適用
されます。）

2. お問い合わせ先
〒470-0195 愛知県日進市
岩崎町阿良池12
大学事務局庶務課
電話 0561(73)1111(代)

ご芳名録

(順不同)

平成21年10月15日 処理分

10口	伊東 國治	宮崎 宗市	福山 泰行	坂堂 正生	鈴木 浩二	向 浩美
	松岡 和也	岡部 京平	荒木 正則	中野 則秋	兼子 真	内藤 久義
杉山 秀樹			中屋 和巳	加納 幸久	伊藤 光邦	麻生 裕司
6口			清水 達	鈴木 敏治	菊地 信男	梶原 典男
杉原 良爾			セツラン・リーニ ア・ントニョ・	宮崎 晃吉	金親 正二	岡瀬 邦男
			胸谷 公敏	三宅 好信	安藤 政彦	西村 眞澄
			高杉 義明	中西 尚照	地搦 登美子	山村 孝司
5口			本多 佳雅	小牧 康雄	川合 弘人	吉田 成夫
上杉 晃	加藤 一登		中島 弘貴	丸山 忠	林 直幸	山田 宏明
小林 晋嘉	村上 弘		岡野 正志	村松 俊明	家田 良穂	岩谷 敏史
吉川 悟司	森 玲二		小崎 靖司	松尾 哲夫	鈴木 一也	松本 清人
澤田 國雄			鈴木 偉大	中平 昭彦	土屋 好之	清須 俊朗
			今岡 勢喜	荒井 義則	西尾 佳高	鈴木 裕司
			山口 久人	佐藤 俊彦	古澤 光雄	大壽 泰裕
4口			辻 正人	北倉 哲明	右鳴 文謙	松波 康治
工藤 正人			矢野 一	杉浦 昭夫	瀧谷 敏代	渡辺 敏也
			前澤 博文	小野 耕資	菅田 裕一	飯田 雅彦
3口			久田 章義	和田 ゆかり	志村 浩幸	豊田 定雄
杉田 美奈子	石川 三信		片山 義昭	林 恵祐	水野 克則	磯村 三彦
横幕 唯志	伊東 幹生		長谷川 敬三	神谷 滝雄	前田 晴美	前田 富一
土本 聡	酒井 弘美		小島 正人	喜畑 雅文	山本 崇博	高木 茂元
藤井 東重	道西 清次		名和 八洲生	浅井 久晴	鳥山 均	櫛田 裕之
早野 浩司			伊藤 淳一	作田 悟	吉田 真弓	福井 努
2口			品川 洋二	ソウ 声カ	田中 克法	
河盛 勝祐	澤入 浩		梅原 達男	山口 昭	佐々木 就雄	
山田 晃	和田 充弘		西坂 英嗣	村瀬 満紀	牧野 亨子	
胡桃澤 八朗	佐野 秀二		久綱 広知	水谷 豊		
古田 征市	竹田 賀宣		河合 誠一郎	森 英雄	1口	
			柳瀬 重夫	打田 貞琴	土井 恵子	中村 則子

平成21年創立記念日クラブ表彰一覧 (平成20年10月1日～平成21年9月30日)

この1年間、対外活動・試合などで優秀な成績を収め、本学の名声を高めた文化系・体育系クラブ(団体・個人)に対する「平成21年創立記念日クラブ表彰」が10月15日に行われた。

表彰の対象となる期間は平成20年10月1日から平成21年9月30日までの1年間。団体は、日本代表になったクラブ、全日本選手権大会で8位入賞まで、地方大会で優勝または準優勝、中部・東海地区大会で優勝、県大会で優勝したクラブ。個人は団体と同ランクの成績を収めた者のほか、最優秀選手賞やベストサイン等を受賞した者、その他、活動が特に顕著であったクラブや個人。

今回は団体31クラブ、(うち歯学部11クラブ・薬学部2クラブ)と個人126人(うち歯学部40人・薬学部7人)が表彰を受けた。

▷一般表彰(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
アイスホッケー部	愛知学生アイスホッケー競技会 林杯争奪アイスホッケー選手権大会	優勝 優勝 優 勝
硬式野球部	愛知大学野球秋季リーグ戦	優勝
弓道部	東海学生弓道選手権大会	男子団体：優勝
ソフトテニス部	秋季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦 西日本学生ソフトテニス選手権大会	優勝 優勝 準 優 勝
準硬式野球部	東海選手権	優勝
サッカー部	愛知学生サッカー選手権大会	優勝
自動車部	金中部学生ジムカーナ選手権大会 全日本学生ジムカーナ選手権大会	女子団体：優勝 女子団体：準優勝
馬術部	中部学生自馬競技大会	特選 特選 特選 特選 特選 特選
ウエイトトレーニング部	中部学生ボディビルディング選手権大会	優勝
洋弓部	東海学生アーチェリー連盟王座出場決定戦	女子：優勝
ラグビー部	東海学生セブンスラグビー大会	優勝
水泳部	中部学生選手権水泳競技大会	特選 特選 特選 特選 特選 特選
射撃部	中部女子学生ライフル射撃選手権 中部学生・中部女子学生ライフル射撃選手権	10mS40団体：優勝 特選 特選 特選 特選 特選 特選
フライングディスク部	全日本学生アルティメット選手権大会	女子：8位
空手道部	春季東海地区大学空手道選手権大会 東海地区空手道選手権大会	女子団体組手：優勝 特選 特選 特選 特選 特選 特選
バレーボール部(女子)	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会 全日本バレーボール大学女子選手権大会	優勝 優勝
	天皇杯・皇后杯6人制バレーボール選手権愛知県大会	優勝
起業研究会	ココロ環境教育賞	優秀賞
スイングオールスターズ	東海ビッグバンドコンテスト	最優秀賞

▷一般表彰(個人の部)

学 科	氏 名	ク ラ ブ 名	大 会 名	成 績
宗教	高田 龍樹	アイスホッケー部	中部学生氷上競技会・中部学生アイスホッケー選手権大会	銀賞選手(得点率・ゴールキーパー)
宗教	高田 龍樹	＊	林杯争奪アイスホッケー選手権大会	ベスト6
総合	林田 将志	＊	中部学生氷上競技会・中部学生アイスホッケー選手権大会	最多アシスト賞
グ英	武田 浩平	＊	中部学生氷上競技会・中部学生アイスホッケー選手権大会	新人賞
健康	手塚 泰仁	＊	林杯争奪アイスホッケー選手権大会	ベスト6
総合	児寄 正己	＊	林杯争奪アイスホッケー選手権大会	最優秀選手賞
総合	中野 智成	弓 道 部	東海学生弓道秋季リーグ戦	優勝
法律	野田 啓太	＊	東海学生弓道選手権大会	男子個人：優勝
商	村上 雄人	ソフトテニス部	愛知県知事杯愛知総合選手権大会	ダブルス：優勝
商	村上 雄人	＊	ショウワカップ東海ソフトテニス大会	ダブルス：優勝
商	＊	＊	東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
商	後藤 渉	＊	愛知県知事杯愛知総合選手権大会	ダブルス：優勝
商	後藤 渉	＊	ショウワカップ東海ソフトテニス大会	ダブルス：優勝
商	＊	＊	東海学生ソフトテニス選手権大会	ダブルス：優勝
ビジネス	村田 直樹	＊	東海学生ソフトテニスシングルス選手権	優勝
商	溝口 雅人	硬 式 野 球 部	愛知大学野球秋季リーグ戦	ベストナイン(投手)
健康	前田 英雄	＊	愛知大学野球春季リーグ戦	ベストナイン(外野手)
産情	大野 弘仁	＊	愛知大学野球春季リーグ戦	ベストナイン(遊撃手)
商	徳本 剛士	準 硬 式 野 球 部	準硬式野球東海地区大学リーグ	ベストナイン(投手)
法律	杉浦 圭吾	＊	準硬式野球東海地区大学リーグ	ベストナイン(遊撃手)
国経	平岡 直道	サ ッ カ ー 部	愛知学生サッカー選手権大会	ベストイレブン
国経	ハウバート・ダン	＊	愛知学生サッカー選手権大会	ベストイレブン
経	奥田 達朗	＊	愛知学生サッカー選手権大会	ベストイレブン
経	観音寺 矢	＊	愛知学生サッカー選手権大会	ベストイレブン
健康	戸根木麻衣	山 岳 部	ボルダリングジャパンカップ	7 位
健康	＊	＊	ボルダリングワールドカップ2009	世界大会出場
日文	楠田 舜也	柔 道 部	全日本ジュニア体重別選手権愛知県大会	100kg超級：優勝
現社	杉原 大将	＊	愛知県学生柔道選手権大会	2年生の部：優勝
現社	＊	＊	東海学生柔道体重別選手権大会	66kg級：優勝
現社	本田 勝一	＊	東海学生柔道体重別選手権大会	73kg級：優勝
総合	東 笑后	自 動 車 部	全中部学生ジムカーナ選手権大会	女子個人：優勝
総合	＊	＊	全日本学生ジムカーナ選手権大会	女子個人：5位
法律	江口 文菜	＊	全日本学生ジムカーナ選手権大会	女子個人：8位
現社	竹村友梨奈	馬 術 部	愛知学生トリアル競技会	障害飛越競技中障害D：優勝
現社	＊	＊	中部学生馬術女子選手権大会	優勝
心理	神谷 千景	＊	愛知学生トリアル競技会	騎乗技術・乗馬技術・乗馬知識・乗馬実技
商	渡辺 隆太	＊	愛知学生トリアル競技会	学生賞馬場馬術競技：優勝
総合	青山 直樹	競 技 ダ ン ス 部	中部日本学生競技ダンス選手権大会八種目戦	八種目総合：優勝
現社	大場 聖人	ボ ク シ ン グ 部	中部学生トーナメント	バンダム級：優勝
宗教	小野山大貴	ウェイトトレーニング部	日本ジュニアボディビル選手権大会	準 優 勝
宗教	＊	＊	全日本学生ボディビルディング選手権大会	優勝
宗教	＊	＊	全日本学生ボディビル選手権大会	優勝
商	濱瀬 達也	＊	中部学生秋季パワーリフティング選手権大会	男子60kg級：優勝
法律	二村 将成	＊	中部学生秋季パワーリフティング選手権大会	男子56kg級：優勝
ビジネス	小川 宗馬	＊	中部学生秋季パワーリフティング選手権大会	男子90kg級：優勝
ビジネス	小川 宗馬	＊	中部学生パワーリフティング選手権大会	男子90kg級：優勝
経営	藤原 庸晃	＊	中部学生パワーリフティング選手権大会	男子82.5kg級：優勝
健康	小林 大輔	洋 弓 部	東海学生アーチェリーインドア選抜選手権大会	優勝
健康	楠 知子	＊	ターゲット県大会	優勝
健康	＊	＊	東海学生アーチェリーフィールド選手権	優勝
健康	＊	＊	東海学生アーチェリー個人選手権大会	優勝
心理	石塚 誠	陸 上 競 技 部	日本学生陸上競技個人選手権大会	男子3000m障害：8位
法律	市川 真央	＊	愛知陸上競技選手権大会	男子4X100mリレー：優勝
経営	田口 明	＊	愛知陸上競技選手権大会	計400mリレー：優勝
経営	＊	＊	東海陸上競技選手権大会	男子4X400mリレー：優勝
心理	金原 優渡	＊	愛知陸上競技選手権大会	計400mリレー：優勝
心理	＊	＊	東海陸上競技選手権大会	男子4X400mリレー：優勝
法律	野村 一貴	＊	愛知陸上競技選手権大会	男子4X100mリレー：優勝
法律	日下部智久	＊	愛知陸上競技選手権大会	男子4X400mリレー：優勝
法律	＊	＊	東海陸上競技選手権大会	男子4X400mリレー：優勝
健康	高橋 健太	＊	愛知陸上競技選手権大会	男子4X400mリレー：優勝
健康	＊	＊	東海陸上競技選手権大会	男子4X400mリレー：優勝
健康	今村 妃呂	＊	東海学生陸上競技夏季大会	女子スウェーデンリレー：優勝
健康	谷崎 仁美	＊	東海学生陸上競技夏季大会	女子スウェーデンリレー：優勝
健康	富田美香子	＊	東海学生陸上競技夏季大会	女子スウェーデンリレー：優勝
健康	山本 純葉	＊	東海学生陸上競技夏季大会	女子スウェーデンリレー：優勝
現社	藤田 大貴	水 泳 部	愛知県短水路選手権水泳競技大会	50mバタフライ：優勝
国文	樋渡 友里	＊	愛知県短水路選手権水泳競技大会	50m自由形：優勝
国文	樋渡 友里	＊	愛知県選手権水泳競技大会	50m平泳ぎ：優勝
心理	早瀬実可子	＊	愛知県短水路選手権水泳競技大会	50m平泳ぎ：優勝
心理	早瀬実可子	＊	中部学生選手権水泳競技大会	100m平泳ぎ：優勝 200m平泳ぎ：優勝
健康	大塚 真弓	＊	日本学生デュアスロン選手権大会	女子総合：優勝
健康	大塚 真弓	＊	天草国際トライアスロン記念大会	女子総合：優勝
健康	＊	＊	ひわさうみぐめトライアスロン	女子総合：準優勝
健康	＊	＊	長良川国際トライアスロン大会	女子総合：3位
健康	＊	＊	日本学生	女子：優勝
健康	＊	＊	トライアスロン伊良湖大会	Bタイプ女子：優勝
日文	大袖利まりこ	＊	三重県選手権水泳競技大会	200m自由形：優勝 400m自由形：優勝
日文	清水 理恵	＊	中部学生選手権水泳競技大会	100mバタフライ：優勝
ビジネス	井ノ下亜美	＊	中部学生春季室内選手権水泳競技大会	100m背泳ぎ：優勝 200m背泳ぎ：優勝
ビジネス	井ノ下亜美	＊	中部学生選手権水泳競技大会	100m背泳ぎ：優勝 200m背泳ぎ：優勝
健康	工藤 慎也	＊	中部学生選手権水泳競技大会	200m背泳ぎ：優勝
健康	高木 咲希	＊	中部学生選手権水泳競技大会	200m自由形：優勝 400m自由形：優勝
健康	足立 陽子	＊	中部学生選手権水泳競技大会	100m自由形：優勝

学 科	氏 名	クラブ名	大 会 名	成 績
法律	坂神 健太	詩 武 道 部	藤成館空手道選手権大会	組手一般有級の部:優勝
経営	林 基樹	〃	坪内杯全日本オープン空手道選手権大会	一般男子有級の部:3位
経営	〃	〃	拳委会全日本空手道選手権大会	一般有級中・重量級:優勝
健康	岡本 秀揮	〃	拳委会全日本空手道選手権大会	一般有級無差別級:優勝
宗教	秋野 紘至	〃	拳委会全日本空手道選手権大会	一般有級無差別級:準優勝
健康	大参 剛司	〃	拳委会全日本空手道選手権大会	一般有級無差別級:4位
日文	橋本 佳雄	射 撃 部	中部女子学生ライフ射撃選手権	10m S40:優勝
日文	〃	〃	中部女子学生ライフ射撃選手権	10m S40:優勝
日文	〃	〃	中部学生ライフ射撃三姿勢大会	10m3X20:優勝
総合	高木 雄平	釣 ク ラ ブ	中部支部秋季ルアー大会	優勝
商	澤畑 友太	〃	春季ルアー大会	優勝
現社	小島 大幸	空 手 道 部	秋季東海地区大学空手道選手権大会	男子形:優勝
現社	〃	〃	東海地区大学空手道選手権個人戦	男子形:優勝
現社	芥川 昌広	〃	日本空手協会愛知県空手道選手権大会	一般男子組手:優勝
現社	〃	〃	東海地区空手道選手権大会個人戦	男子組手(60kg未満):優勝
総合	金田 晋一	〃	東海地区空手道選手権大会個人戦	男子組手(60kg以上70kg未満):準優勝
宗教	江藤 茜	〃	東海地区空手道選手権大会個人戦	女子組手:優勝
宗教	〃	〃	春季東海地区大学空手道選手権大会	女子組手:優勝
宗教	〃	〃	東海地区空手道選手権大会	一般女子組手:優勝
心理	杉山 功貴	〃	東海地区空手道選手権大会	一般男子組手:優勝
経営	黒野 正峰	〃	東海地区空手道選手権大会	一般男子形:優勝
健康	坂本 育美	バレーボール部(女子)	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	セ ッ タ ー 賞
健康	坂本 育美	〃	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	セ ッ タ ー 賞
健康	水谷友梨子	〃	東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会	ス バ イ ク 賞
健康	大西 悠悠	〃	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	ベストスコアラー賞
商	松下奈緒美	〃	東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会	新 人 賞
歴史	松本 世良	居 合 道 部	東海学生居合道選手権大会	初 段 の 部 : 優 勝
心理	速水 絵里	書 道 部	全日本高校・大学生書道展	優 秀 賞
総合	久野 哲史	〃	読売書法展	優 入 賞

▷ 歯学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
硬式庭球部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	総合：優勝
〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体：優勝
〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体：優勝
サッカー部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	準優勝
ゴルフ部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体：準優勝
バドミントン部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	総合：3位
〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体戦：優勝
ボウリング部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	総合：準優勝
〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	団体戦：Aチーム準優勝
空手道部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	総合：準優勝
〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子団体戦：優勝
〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	女子団体戦：3位
少林寺拳法部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	総合：優勝
〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	団体演武の部：優勝
ヨット部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	総合：優勝
水泳部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子400mリレー：準優勝
硬式野球部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	準優勝
バスケットボール部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	優勝

※ 歯学部は、第41回全日本歯科学学生総合体育大会で総合優勝しました。

▷薬学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
薬学部剣道部	第63回関西薬学生連盟剣道大会	女子団体・準優勝 男子団体・準優勝
薬学部陸上競技部	第9回全日本薬学生対抗陸上競技大会	男子フィールド総合・準優勝

▷ 歯学部(個人の部)

年 次	氏 名	ク ラ ブ 名	大 会 名	成 績
4	中村 英貴	ス キ ー 部	冬季歯科大学対抗戦	男子個人総合:優勝
5	橋本麻衣子	ゴ ル フ 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子スーパ- G:3位
5	長澤亜紗美	日 本 拳 法 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	女 子 個 人 : 3 位
5	辻本 記子	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	女子個人戦:準優勝
2	内藤 裕綱	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子新人戦:優勝
6	阿部 公成	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子個人戦:準優勝
4	本庄 泰大	柔 道 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	無段の部:準優勝
4	田中 佑典	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	81kg級:準優勝
5	森田 大貴	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	無段の部:優勝
1	川原 優	少 林 寺 拳 法 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	新入会の部:3位
1	宮園 将也	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	新入会の部:3位
2	徳田 篤紀	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	級拳士の部:準優勝
2	鳥井 祐作	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	級拳士の部:準優勝
3	葛島 一輝	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	初段の部:準優勝
3	中田 幸佑	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	初段の部:準優勝
4	江端亜希子	〃	中部医歯大会	自由組演武の部:優勝
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	二段以上の部:準優勝
4	川島 由衣	〃	中部医歯大会	自由組演武の部:優勝
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	二段以上の部:準優勝
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	準決勝、有段者の部:準優勝
4	中島 一	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	二段以上の部:3位
4	八谷 文貴	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	二段以上の部:3位
4	田中 佑典	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	二段以上の部:3位
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	二段以上の部:優勝
6	西村 誠	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	準決勝、有段者の部:優勝
3	梅田 寛子	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	二段以上の部:優勝
3	加藤万里奈	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	初段の部:3位
2	三輪 百香	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	初段の部:3位
2	山田真梨子	〃	中部医歯大会	規定組演武の部:優勝
2	寺嶋 純一	陸 上 競 技 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	規定組演武の部:優勝
4	椋田 公平	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	3000m障害:3位
4	江頭 美喜	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	砲丸投:3位
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	100mハードル:準優勝
3	杉本 真一	バドミントン部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	走幅跳:3位
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子シングルス:優勝
5	小川 直寛	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子ダブルス:優勝
2	岡本 直樹	ボウリング部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子ダブルス:優勝
5	中山 英典	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	シングルス:3位
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	シングルス:準優勝
5	野村 佳世	水 泳 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	個人総合:3位
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	女子50m/タフライ:優勝
3	岩井 宏次	剣 道 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	女子200m自由形:3位
5	齋藤 拓実	ヨ ッ ト 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子個人 押-舢舨の部:3位
4	北村 隆典	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	個人総合:優勝
4	竹原 庸介	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	個人総合:優勝
4	堀尾 公彦	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	個人総合:準優勝
4	皆川 将司	アーチェリー部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	個人総合:準優勝
4	山田 宗季	弓 道 部	第41回全日本歯科学生総合体育大会	個人 級:優勝
〃	〃	〃	第41回全日本歯科学生総合体育大会	男子個人:3位

▷薬学部(個人の部)

学年	氏 名	クラブ名	大 会 名	成 績
1	阿知波侑子	薬 学 部 剣 道 部	第63回関西薬学学生連盟剣道大会	女子個人：優勝
3	植原 志歩		第63回関西薬学学生連盟剣道大会	女子個人：準優勝
3	佐野 友香	薬 学 部 卓 球 部	第41回東海医薬業学生卓球大会	女子シングルス：優勝
			第52回全日本薬学生卓球大会	女子シングルス：準優勝
2	田中万祐子		第52回全日本薬学生卓球大会	女子ダブルス：準優勝
3	竹内 健人	薬学部陸上競技部	第9回全日本薬学生対抗陸上競技大会	男子砲丸投：優勝
3	高岡 真幸		第9回全日本薬学生対抗陸上競技大会	男子やり投：2位
4	井部 悠貴	ス キ ー 部	全国学生岩氷スキー大会	男子個人：殿5位